

## 2023年度（公財）綿貫国際奨学財団奨学金

標記財団からの推薦依頼に基づき、以下のとおり、募集します。応募に際しては必ず、募集要項等で詳細を確認してください。

応募資格	<p>(1) 財団が提示する応募資格を全て満たすこと。在籍要件は、2023年4月時点で、次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：修士課程及び博士課程（学部生は対象外）</li> <li>・国籍：アジア太平洋地域諸国（中国は除く）</li> </ul> <p>(2) 在留資格が「留学」であること（あるいは「留学」へ変更申請中であること）。</p> <p>(3) 2022年度において休学、原級、在籍原級、留籍をしていないこと。 また、応募する奨学金の受給年度において休学、原級、在籍原級、留籍の見込みがないこと。</p> <p>(4) 2022年度に懲戒処分を受けていないこと。また、応募時点で懲戒処分期間中ではないこと。</p> <p>(5) 直近のGPAが、学部生で2.7以上、大学院生で3.5以上（会計専門職研究科学生のみ2.5以上）であること。</p>
推薦者数	4～6名（国籍別で1～2名を選出）
学内締切（厳守）	2022年10月11日（火）17：00
提出書類	<p>募集要項をよく確認した上で、以下の①～⑤を提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 奨学金申込書</li> <li>② 指導教員からの推薦書</li> <li>③ 研究計画書（黒色のボールペンによる手書き）</li> <li>④ 研究状況報告書（様式自由）</li> <li>⑤ 成績通知書（2022年春学期の成績が反映されたもの。Oh-o!Meijiからプリントアウトしてください）</li> </ol> <p>* 学内選考通過者については、その後、在留カード（写）と成績証明書を提出いただきます。</p>
提出先	国際教育事務室（駿河台・和泉・生田）または中野教育研究支援事務室
【重要】 注意事項	<p><b>1.奨学金支給期間終了後においても、受給者がどのような活躍をしているかを把握するため、綿貫国際財団から継続して連絡がありますので、必ず、それを承知した上で申し込むこと。</b></p> <p><b>2.第1回目の奨学金支給日は、6月末になります。</b></p>
注意事項	<p>(1) 応募に際しては必ず、「募集・推薦要項」で詳細を確認してください。</p> <p>(2) 学内での応募についてはこの学内募集要項の指示にしたがってください。</p> <p>(3) 不明な点がある場合には、国際教育事務室、中野教育研究支援事務室（中野キャンパス低層棟3階）へ問い合わせることとし、<u>直接、当該財団に問い合わせないでください。</u></p> <p>(4) 学内応募については、他の奨学金との併願を認めますが、同一の学生を併給が認められない複数の奨学金には推薦しません。</p>
個人情報の 取り扱いについて	<p>明治大学は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」ならびに本学「個人情報の保護に関する規程」に基づき、日本学生支援機構奨学金、学内奨学金、その他の学外奨学金の申請者及び保護者等関係者の個人情報（学籍異動・成績情報を含む）を奨学金業務を適切に遂行する目的以外には使用しません。また、個人情報提供先については、法令に遵守した形で行い、これらの目的以外に個人情報を利用しないことを約束します。</p>
お問い合わせ	〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学 国際教育事務室 奨学金担当 (03-3296-4146)

# 公益財団法人 綿貫国際奨学財団

## 2023年度奨学生募集要項

### I. 奨学金制度の概要

#### 1. 支給金額

学費及び生活費として、下記の金額を支給する。  
月額 150,000 円

#### 2. 奨学期間

- ①新規採用の場合は、原則1年間（4月～翌年3月）とする。
- ②継続・延長申請を認めた場合は、①と併せ最長3年間の受給を認める場合もある。

#### 3. 申請者の区分

申請者は下記のように区分する。

- ①新規申請者…財団の奨学金を受給したことの無い者。
- ②継続申請者…現在当財団の奨学生および以前、当財団の奨学金を受けたことのある者で継続を希望する者。
- ③延長申請者…1年以内に指導教官から博士号取得の見込みがある旨の推薦を受けた現奨学生について、6ヶ月程度の延長を認める場合がある。（オーバードクターの際）

#### 4. 支給停止等の要件

下記のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止、又は奨学生の資格を失う。

- ①当該大学の学籍を失ったとき。
- ②病気その他の事由により、修学・研究を継続する見込みのないとき。
- ③学業成績不良、又は指導教官から修学・研究の継続に不適合と認められたとき。
- ④応募書類等に虚偽の記述が認められたとき。その他、当財団の奨学生として、ふさわしくない素行のあったとき。
- ⑤その他の異動により、応募資格に該当しなくなったとき。

#### 5. 奨学金支給時期 ※初回の奨学金支給の時期にご注意くださいませ。

- 6月30日頃（4か月分）
- 8月25日頃（2か月分）
- 10月25日頃（2か月分）
- 12月25日頃（2か月分）
- 2月25日頃（2か月分）

## II. 応募資格

### 1. 国籍と在留資格

日本以外の国籍を有し、アジア太平洋地域諸国（V. 応募者国籍の範囲）から、在留資格「留学：College Student」で来日している者。（家族に日本在住の外交官や駐在員、及び日本国籍者がいる者は応募資格が無く、支給開始後に該当することになった場合は、その時点で支給停止。）ただし、採用上のバランスを保つため、国籍による募集制限を行う場合がある。

### 2. 在籍大学

当財団が推薦を依頼する大学の、大学院博士課程（前期・後期）、及び医・歯学系博士課程に在籍する者。留年者を除く。（ただし 2023 年 3 月 31 日迄に次年度入学が決定する者、あるいは 2023 年 4 月以降に進級見込みのある者を含む。）

### 3. 資質

優秀な学力と穏健な性格をもち、心身ともに健全な者。将来、グローバルな視点をもった指導者を目指し、国際理解と親善に貢献する意欲のある者。日本語によるコミュニケーションに支障のない者。

### 4. 奨学金の併給

他奨学金の併給は認めない。現在受給中の他奨学金の支給期間が 2023 年 4 月以降に及ぶ場合は、その奨学金を辞退する者。

### 5. 交流事業への参加

年 2 回の「奨学生の集い」に参加すること。**奨学金終了後も当財団との交流を継続すること。**

### 6. 経済的に困窮している事が客観的に認められること。

## III. 応募方法

1. すべての応募者は、指定大学（在籍中、又は進学予定）の推薦を受け、応募書類を作成し、指定大学を經由して提出すること。

### 2. 応募書類

#### ①奨学金申込書

証明写真データを貼り付けること。（2022 年 4 月以降撮影したもの。上半身正面向き。）

#### ②指導教官の推薦状

#### ③奨学生推薦状（署名、捺印後スキャンして pdf データでの提出）

#### ④研究状況報告書…今後の研究計画又は現在までの研究状況について作成。

日本語で**自筆**のものをスキャンして提出。

#### ⑤上級課程進学予定者は、合格通知書。応募時に合格していない者については、合格次第の提出で可。

#### ⑥学業成績表。現課程のものが入手不可能な場合は、直前課程の成績表。

※博士後期課程で成績評価をおこなっておらず成績表の発行ができない場合は、直前課程の成績表と合わせて、申請時点の修学状況や教授の評価がわかる書類を作成し提出すること。

#### ⑦外国人登録証明書のコピー。（表・裏）

3. 応募書類は英語または母国語表記の表示がない限り原則としてすべて日本語で作成すること。

#### IV. 選考と採用

1. 選考は、書類選考と面接試験により行い、採用は選考委員会を経て、理事会で決定する。
  2. 書類選考結果は、12月下旬～1月頃通知予定。(新規応募者と在籍大学に対し一次合格通知(面接通知)または不合格通知、継続・延長応募者と在籍大学に対し内定通知)
  3. 面接試験は、1月頃を予定。
  4. 面接試験結果は、面接実施者と在籍大学に対し、2月頃通知予定。
  5. 最終決定は、3月の採用資格確認を経て、4月末頃を予定。
- ※ 応募書類は返却しません。また、選考内容に関する問い合わせには一切応じません。

#### V. 応募者国籍の範囲

パキスタン	ネパール	インド	ブータン
スリランカ	モルジブ	バングラデシュ	ミャンマー
タイ	ラオス	カンボジア	ベトナム
フィリピン	インドネシア	マレーシア	ブルネイ
シンガポール	台湾	韓国	中国(香港を含む)
モンゴル	オーストラリア	西サモア	ニュージーランド
パプアニューギニア	ソロモン諸島	その他太平洋上諸国	

※当財団では国籍の偏りがないように、できるだけ多くの国から留学生を採用する予定です。

2023年度は、千葉・筑波・東北・日本・亜細亜・明治・千葉工業の7大学について、新規推薦の場合は中国を募集範囲から除外します。また、東京・京都・名古屋の3大学について、新規推薦の場合は韓国を募集範囲から除外します。国籍の制限につきましては、ご理解・ご協力くださいますようお願い致します。

公益財団法人 綿貫国際奨学財団  
奨学金申込書

2023年度

1. 姓 名

母国語表記

漢字表記

英語表記

Name (in alphabet)

カタカナ読み

証明写真

西暦

(2023年3月31日時点)

2. 生年月日

年

月

日生

歳

性別： 男性  女性

3. 国籍 Nationality

4. 健康状態

良好

普通

やや不安

5. 現住所

〒

Current Address

Mobile phone

Email address

学内Email

6. 母国住所 (すべての連絡先が不明となった場合、連絡することがあります)

母国語表記住所

英語表記住所

7. 申込書記入時の在籍大学 (入学年月日 年 月)

大学

学部

学科

年次

大学大学院

研究科

専攻

修士  博士前期

博士  博士後期

年次

指導教官名

8. 2023年4月からの在籍予定大学及び年次

大学大学院

研究科

専攻

修士  博士前期

博士  博士後期

年次

上級課程進学の場合  合格済 ( 年 月 日)

合格予定 ( 年 月 日)

9. 学 歴 (課程欄を○印で囲む)

教育機関の種類	学校名及び所在地 School name / Location	修学年数 Period of schooling attended	入学及び卒業(見込)年月 Year & month of enrollment & graduation (expected to graduate)	学位 資格、専攻科目 Diploma or Degree Awarded, Major Subject
高 校 High School	学校名 所在地		入学 年 月 卒業 年 月	
大 学 University	学校名 所在地		入学 年 月 卒業 年 月	
大学院/修士 (Masters)	学校名 所在地		入学 年 月 卒業 年 月	
大学院/博士 (Doctor, PhD)	学校名 所在地		入学 年 月 卒業 年 月	
その他 日本語学校等	学校名 所在地		入学 年 月 卒業 年 月	
日本語能力 (資格) Japanese language qualifications			年 月	級 取得

10. 職 歴 (兵役については、勤務期間のみ記載すること)

勤務先及び所在地 Name and location of organization	勤務期間 Period of employment	役職名 Position	職務内容 Type of work
	年 月から 年 月まで		
	年 月から 年 月まで		

11. 日本の教育機関において、これから取得しようとする学歴計画

(未定な部分も多いと思いますが、希望で構いませんので必ず入力してください。)

進 学 希 望	a. 博士後期 b. 後期課程進学希望なし c. 未定
博 士 号 の 取 得 希 望	有 ・ 無 ・ 未定 年 月取得予定
帰 国 予 定	年 月頃 ・ 未定

12. (1) 日本留学後の仕事または職場の予定 (必ず入力)

---



---

(2) 母国への具体的な貢献策について (必ず入力)

---



---

### 13. 経済状況

① 1カ月の平均収入源 ※授業料等、学費に対する援助を除いた生活費に対する援助

仕送り額 ※ 月額 万 千円 (仕送りもと 例：両親 )

奨学金 月額 万 千円 (奨学金の名称：  
受給期間 年 月 ~ 年 月 )

他からの援助 ※ 月額 万 千円 (援助者との関係 )

配偶者の収入 月額 万 千円 (収入の内容 )  
(同居の場合)

アルバイト収入 月額 万 千円 (仕事内容 )

**合計** 万 千円

②今年度の授業料年額 万 千円 (そのうち 前期の免除額 万 千円)

③来年度入学金の予定額 (上級課程進学者のみ) 万 千円

④家賃月額 (アパート・寮・下宿・その他) 万 千円

### 14. 他の奨学団体 (文科省等) への来年度奨学金の応募予定 (継続申請者も、他団体に申し込む場合は必ず入力してください。)

団体名 1. \_\_\_\_\_ 2. \_\_\_\_\_

### 15. 過去に受けた奨学金の名称及び機関

Describe the scholarship	_____	年 月 ~	年 月
	_____	年 月 ~	年 月
	_____	年 月 ~	年 月

### 16. 家庭状況 (既婚の兄弟姉妹も含め、家族全員を記載すること。退職・死亡した場合は、元勤務先)

家族氏名	続柄	年齢	現住所	勤務先又は学校名	備考
	父				
	母				
	兄弟 姉妹				
	配偶者				
	息子				
	娘				

# 指導教官からの推薦状

被推薦者  
氏名

推薦日 年 月 日

指導教官	所属	
	職名	
	氏名	

(被推薦者の研究内容についてご説明ください。)

-----  
-----  
-----

(研究・学業成績等について)

(1) 優れている点

-----  
-----

(2) 多少劣る点・課題等

-----  
-----

(本人の性格等について)

-----  
-----

(推薦の理由)

-----  
-----

-----  
-----

大学院博士課程(後期課程)在籍学生の博士の学位取得見込みの可能性について

有 ・ 無 西暦 年 月頃取得見込み

-----  
-----

-----  
-----



# 研究計画書

※専門用語を使わず、できるだけわかりやすくシンプルにご記入（自筆）ください。

大学名 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

① 研究内容を簡潔に説明してください

---

---

---

② 研究の目的

---

---

---

---

---

---

---

---

③ 研究の成果・効果等

(研究成果を応用してどのようなものになるのか、何に利用できるのか)

---

---

---



# 研究状況報告書

以下、様式&書式自由 (手書きでなくて構いません)

① 学会への参加(予定のものも含める)

年	月	学会名『	』
		発表論文名「	」
年	月	学会名『	』
		発表論文名「	」

② 学会誌・専門誌での論文発表 (予定のものも含める)

年	月	学会名『	』
		発表論文名「	」
年	月	学会名『	』
		発表論文名「	」